

<センター等>

別紙2

全学内部質保証委員会の意見書

I 対象となるセンター等

データ科学・AI 教育研究センター

II 自己点検、外部評価実施時期

令和3～5年度

III 評価結果

1. 今回の自己点検・評価は適切に実施されたか
適切に実施された。

2. 外部評価は適切に実施されたか（外部評価を実施している場合）
外部評価は実施されていないので、評価の対象外である。

3. センター等の設置目的等や活動は本学及びセンター等の目的・目標等に沿ったものであるか
設置目的は本学やセンターの目的や使命に合致したものであり、その目的に基づいた活動が実施されている。

4. 設置目的等を達成する上で、組織、設備、財務等は適切か
活動のための標準的な組織、設備、財務は確保できている。一方で、今後は教育面だけでなく研究面での活動の拡充も期待されており、その実現に向けて、施設の利用状況、設備の活用実態、教職員・学生のニーズ把握、財務戦略などから、活動の適切な拡大方針と必要な支援体制を検討していくことが望まれる。

5. 活動は本学及びセンター等の目的・目標等の達成に十分に資しているか
教育面において、目標数値の達成も含めて、非常に充実した活動が実施されており、高く評価する。

6. 活動によって人材育成が図られているか
評価対象外である。

7. 内部質保証体制が適切に整備され、機能しているか
内部質保証体制が適切に整備され、機能している。

8. 外部評価における意見への対応（自己点検・評価での課題への対応）は適切か
自己点検・評価での課題等への対応措置（別紙4）の内容は適切である。

9. その他、特記すべき点・改善を要する点等
基準3-4に関して、中期計画に掲げられている「各学部の特徴に応じた数理・デー

「タサイエンス・AI 分野の教育を推進」について、自己点検評価報告書の少なくとも該当箇所の記述からは具体的な取り組みが十分に読み取れなかった。例えば、リテラシーレベル教育の必修化や学部単位での応用基礎レベル教育の認定取得や普及が各学部の特徴に応じた教育ということであれば、それを明示的に記述するのが望ましい。

10. 上記を踏まえ、センター等の改廃についての意見

- (1) 専任教員の配置は妥当か
妥当である。
- (2) 現状どおり設置していくことは適切か
適切である。